

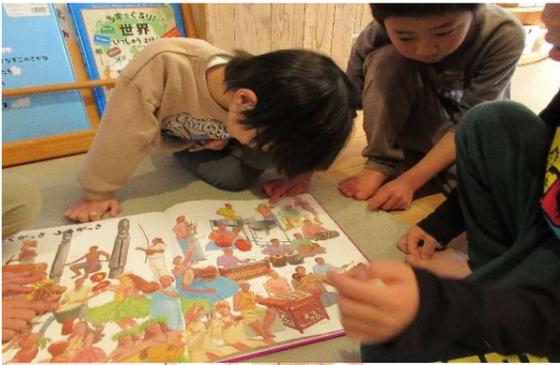
テーマ 音(おと)

活動を選んだ理由

一丁目保育園では大人も子どももよくうたをうたいます。音の美しさ楽しさをやしゅくみ、面白さを知り探求していけるように選びました。

① 春、子どもたちが目をつぶって大人が様々な音を出してみる音当てクイズを楽しんだり、絵本で見た楽器ギロを实际さわらせてもらったり。音の大きさ、高い低い、早い、ゆっくりも知りました。

② 夏、作ってみたい楽器を子どもたちと相談し3歳クラスは鳴子、4歳児クラスは紙コップギター、5歳児クラスはギロを作りました。3クラス集まって、楽器紹介をして、合同演奏会も楽しみました。



③ 秋には保育園に新しい楽器を迎えました。カホン、ボンゴ、ビブラスラップ、ジャンベ、マラカス、サンバホイッスル、カバサなどです。楽器を前に、子どもたちのわくわくどきどきが伝わってくるようでした。

冬には5歳児クラスのパーカッションワークショップを企画。日本中で大活躍の打楽器奏者、竹内みのり先生をお迎えして一つ一つの楽器を奏でてもらいました。本格的なリズムで楽器たちに命が吹き込まれ、自然に子どもたちも踊り出してしまいうれしい体験となりました。また楽器を使わなくても手をたたいたり足を踏み鳴らし、リズムを作ることができることも学びました。ポディーパーカッション！後半は実際に楽器を子どもたちも順番に体験しました！最後は小さいクラスの仲間を迎え入れて、サンバ『手のひらを太陽に！』を演奏披露。拍手喝さいを受けました。



音を楽しむことは人生を豊かにしていきますね。きれいな音、優しい音、ドキドキする音(緊急地震速報の音など)大きな音、小さな音、太い音、細い音などなど。音色と言いますが、音にも彩りを感じます。自分たちで楽器を作り演奏したこと、本格的な世界の楽器に触れて、体の中から自由な発想で奏でられるパーカッションで気持ちを開放してサンバを演奏したこと。聞こえてくるさまざまな音に耳を傾ける癖がついたこと。この体験はきっと子どもたちの中の種になり、これから様々な可能性の芽になっていくのだろうなあと感じています。